

日本学術会議・地球惑星科学委員会・地球惑星科学国際連携分科会

SCOSTEP-STPP 小委員会(第 25 期・第 1 回)議事録

開催日時: 2021 年 1 月 18 日 16:00-17:00

開催場所: 名古屋市千種区不老町 名古屋大学宇宙地球環境研究所

インターネット会議システム (zoom)

出席者: 石井守、上野悟、大村善治、小原隆博、河谷芳雄、草野完也、坂尾太郎、佐藤薫、高橋幸弘、田中良昌、寺田直樹、中村卓司、花岡庸一郎、廣岡俊彦、増田智、松岡彩子、三好勉信、三好由純、村山泰啓、山本衛、吉川颯正、余田成男、渡辺真吾

欠席者: 塩川和夫、星野真弘

オブザーバ: 門倉昭、清水敏文、末松芳法、徳丸宗利、中村正人、藤井良一、宗像一起、渡部重十

配布資料

資料1. 第 25 期 SCOSTEP-STPP 小委員会名簿

資料2. SCOSTEP-STPP 小委員会(第 24 期・第 7 回)議事録

資料3. 第 25 期日本学術会議地球惑星科学委員会組織図

資料4. 第 25 期 SCOSTEP-STPP 小委員会設置提案書

資料5. SCOSTEP 及び PRESTO プログラム説明スライド

資料6. PRESTO プログラムリーフレット

資料7. ISWI 説明スライド

資料8. 委員会等の議事要旨の公開等に関するガイドライン(学術会議)

資料9. メール審議の実施について(学術会議)

資料10. 日本学術会議学術フォーラム

追加資料1. 宇宙天気に関する国際活動報告

議事に入る前に、増田委員から、本小委員会の設置提案書は塩川和夫第 24 期 SCOSTEP-STPP 小委員会委員長が世話人として学術会議に提出し、すでに承認された旨、報告があった。また、本小委員会の設置期間は 2020 年 12 月から 2023 年 9 月末までであることが確認された。また、本日世話人の塩川委員がやむを得ぬ事情で欠席となったため、委員長、副委員長、幹事の決定までの議題の議事進行を増田委員が務めることが了承された。

議事次第

(1) 委員長、副委員長、幹事の決定

委員長として、塩川委員が推薦され、全会一致で承認した。引き続き、副委員長として、三好由純委員、吉川委員が承認された。また、幹事として、増田委員が承認された。

以下の議事は三好副委員長が議長となり執り行った。

## (2) 学術会議の組織・本小委員会の位置づけに関する情報交換

中村委員から資料3に基づき、学術会議の現状、本小委員会の学術会議での位置づけについて、説明があった。

引き続き、中村委員から資料8と9の要点についての説明が行われ、本小委員会が学術会議の「議事要旨の公開等に関するガイドライン」に従うことと、本小委員会委員が「分科会委員間のメールアドレス共有」を認めることを全会一致で承認した。

また、中村委員から、資料10に基づき、日本学術会議学術フォーラム及びJpGUで開催される関連セッションの紹介が行われた。

## (3) SCOSTEP 及び PRESTO プログラム(2020-2024)の活動に関する情報交換

三好由純委員から資料5に基づき、SCOSTEPの紹介、PRESTOプログラムの紹介が行われた。同じく、三好由純委員がビューローメンバーとして出席した1月15日-16日にオンラインで開催されたビューロー会議の報告として、SCOSTEPの新たな加盟国としてポーランドが承認されたこと、STP-15は2022年2月にインドで開催予定であることなどが紹介された。また、1月8日に名古屋大学宇宙地球環境研究所がSCOSTEPの活動の一部を支援する覚書が両者間で締結されたという報告があった。

その後、質疑応答が行われ、SCOSTEPのSDR (Science Discipline Representatives)の現状について質問があり、三好由純委員から、SCOSTEPとしてSDRの役割や構成について検討中である旨の回答があった。また、SDRがSCOSTEP役員の選挙権を持っているか、という質問に対し、三好由純委員から、SDRは選挙権を持っており、それゆえ、Adherent Member国の権利をどう考慮するか等でSDRのメンバー構成がより難しくなっているとの回答があった。

## (4) 太陽地球系物理学に関する国際活動の振興及びSTPP関係の活動(ISWI等)に関する情報交換

吉川委員から資料7に基づき、ISWIの説明があった。その中で、2020年にインドで予定されていたISWI/UN workshopは2021年に延期になったという報告もあった。また、ISWIのペルーのコーディネーターであったJose Ishitsuka氏が2020年11月にお亡くなりになったという情報が伝えられた。

石井委員から、追加資料1に基づき、ICAO、UN/COPUOS、COSPAR、ITUに関する報告があった。内容は以下のとおりである。

ICAO: 3つのグローバルセンターで宇宙天気情報提供をしている。

その3センターでの観測網・モデルの共有化を検討中である。

UN/COPUOS: 宇宙天気の取り組みに関するアンケートを各加盟国及び国際機関に向けて実施。

COSPAR: UN/COPUOS とリエゾンの形で ISWAT(International Space Weather Action Teams) の活動が活発  
2021 年 1-2 月の COSPAR でパネルディスカッションを予定している。

ITU: WRC-23 において宇宙天気 センサーの周波数保護 に関する文書 提出 を検討。

(5) 次回会合の予定

JpGU の開催時期(2021 年 5 月下旬-6 月上旬)に第二回小委員会を開くことになった。日程調整は、後日、行う。

(6) その他

中村委員から学術会議の「マスタープラン 2023」に関連して、地球惑星科学委員会において、6 月ごろに第一回、年末ごろに第二回の申請予定課題の内部ヒアリングを行う予定という連絡があった。

以上